



かみっこ



いよいよ運動会！

秦野市立上小学校長・幼稚園長 中村 克己

TEL 88-0274 FAX 87-3809

緊急事態宣言が明け3週間。感染者数も大幅に減少する中、飲食店での時短営業が解除され、少しずつではありますが、通常の生活に近づいている感じがします。学校でも引き続き、これまでと変わりなく感染防止対策を取りながら、安全で安心な学校生活が送れるよう努めてまいります。ご家庭におかれましても、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

いよいよ今週末の10月30日（土）は幼小合同運動会の開催です。今年の運動会のスローガンは、「上っ子77人の絆～心を燃やせ 全力 運動会！～」です。昨年PTA種目が実施できず、残念がっていた保護者からの声が多数ありました。今年度は実施いたしますので、親子で半日の時間を十分楽しんでください。

さて、センダンの会お父さんたちが、手作りのベンチを提供してくださいました。5月の大型連休中に切り出した丸太の皮むき、切断に始まり、夏休み中の熱い中での組み立て、塗装、そして先日の草刈りを終えた後、最後の磨きの作業を経てすべての工程を終了し体育館南側に設置しました。運動会当日に、皆さんにお披露目される予定です。ありがとうございました。



園児と5年生が脱穀！



一人ずつ稲の束を脱穀機で脱穀体験をしました。

10月21日（木）に体育館前で、須藤勉さん、和田昭子さん、和田利一さん、須藤政一さん、細川さん、鶴野さんにご指導いただきながら、園児と5年生児童が2週間前に稲刈り、から干しを終えた稲の脱穀体験をしました。使用したのは須藤勉さんから寄贈された足踏み脱穀機です。園児と5年生は一人ずつ一束の脱穀を行いました。

今年のコメは豊作で、脱穀した稲粃の重さは約50kgで、精米すると40kgほどになるとのことです。

私も足踏み脱穀機を動かしながら作業を試みましたが、足と手の連動作業が大変難しく、はじめは脱穀機が逆回転してしまい、一回止めてから再度動かし脱穀しました。

この後は粃殻を取り除き精米にする作業を経て、給食に配膳される日がとても待ち遠しいです。

第13回秦野市植樹祭！

平成22年5月に第61回全国植樹祭が秦野市で開催されました。それを機に、秦野らしい森林づくりを進める必要があると考えました。市民主体の植樹・育樹・活樹事業を実施することにより、市民の森林・里山の循環及び保全に対する理解を深めることを目的に、10月23日（土）に第13回の秦野市植樹祭が、「新東名高速道路の開通へ向けて 次世代への森林づくりから」をスローガンに、上小学校をメイン会場として開催されました。

式典の中で、本校児童3名が植樹に参加しました。式典後は、植樹会場にてシラガシ、ムラサキシキブなどの苗木を植樹しました。上小ブースには、子どもたちのお気に入りのスポット画像が展示されました。



高橋秦野市長、みどりの女神と植樹に参加した3名



子どもたちの作品と大根・里芋販売（上小ブース）

心も体もほぐれました！学校保健安全委員会



10月25日（月）に、本年度第2回目の学校保健安全委員会が開催されました。今回の講師の先生は、東海大学名誉教授の川向妙子（かわむかい たえこ）先生です。川向先生は、大学時代は新体操の日本代表として、1969年の第4回新体操世界選手権大会にて、団体種目第5位入賞という輝かしい結果を残され、初めて日本選手が世界大会に出場した選手のおひとりです。また、東海大学に勤務されていたことから、秦野市とのつながりが大変強く、20年余り前に「秦野市民体操“さわやか体操”」を作られ、各方面でご指導をされています。「体操は字のごとく、体を操る（あやつる）」を繰り返され、体操の効果について実技をしながら学びました。

ウォーミングアップの手足を使ったジャンケンから、体がほぐれポカポカしてきました。そして「さわやか体操」のポイントを押さえ、効率的に伸ばす、曲げる、呼吸の大切さについて指導をいただきました。あっという間の1時間30分で、心も体もほぐれ笑顔あふれる時間を過ごせました。川向先生ありがとうございました。